

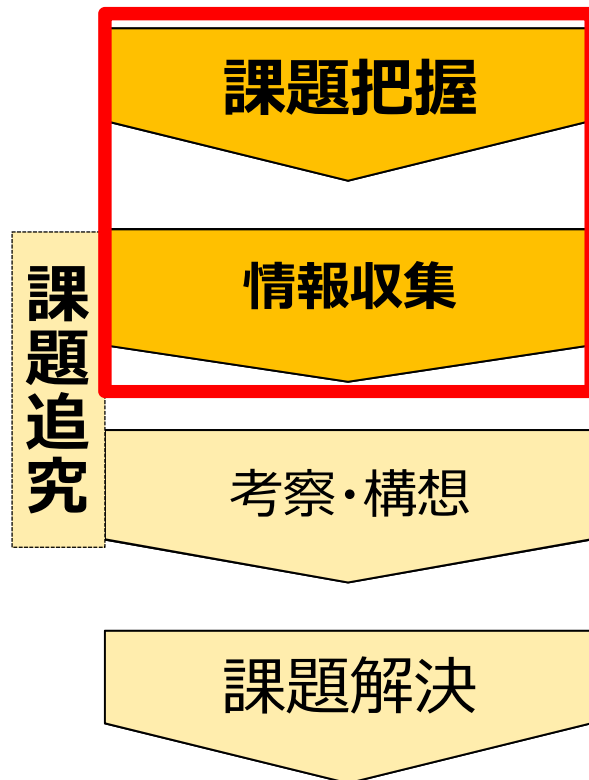
# 中学校・社会科 地理的分野・「日本の諸地域」①

## 育成を目指す資質・能力

東北地方の地域的特色や地域の課題，交通や通信を中核とした考察の仕方で行き上げた特色ある事象とそれに関連する他の事象，そこで生ずる課題について理解する。中核となる事象の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現する。日本の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付ける。

## ICT活用のポイント

生徒一人一人が「なぜ，東北地方では交通網の整備が進んでいるのだろう。」という問題意識をもち、問題解決の見通しをもった後、必要な情報を収集したり、収集した情報を読み取ったり、読み取った情報を分類・整理して話し合ったりする際に一人一台のICT端末を活用することで、学習活動の幅を広げることができる。



## 事例の概要

### ○「学習課題を把握する場面」において

学習課題の解決に向けて見通しを持つ場面において，効果的な動画を活用することで，単元の学習に対する生徒の動機付けを図るとともに，予想や仮説を立てたり，調査方法，追究方法を吟味したり，学習計画を立てたりする際の方向付けを図ることができる。

### ○「学習課題の解決に向けて必要な情報を収集する場面」において

経済産業省の「地域経済分析システム（RESAS）」や総務省統計局の「政府統計の総合窓口（e-Stat）」などの公的機関が提供する地図サイトや統計サイトを，ICTを活用して生徒一人一人に利用させることで，対象地域の地域的特色を捉えるための信頼性の高い情報を収集する技能を身に付けることができる。

また，自ら収集した資料から読み取った情報を基に，他者との対話を通して，東北地方の交通や通信に関わる地域的特色を，他の事象や地域の課題と有機的に関連付けて考察し表現する活動を通して，社会的事象について主体的に調べ分かっていくと課題を意欲的に解決しようとする態度を育成することが期待できる。

# 中学校・社会科 地理的分野・「日本の諸地域」②

## 【課題を把握し，課題解決の見通しを持つ場面】



問い：「東北地方の伝統行事にはどのような共通点が見られるのだろう。」

- NHK for schoolで『秋田の竿燈まつり』、『仙台七夕まつり』などの短時間の動画を閲覧し，気付いたことを話し合う。（※付箋機能を利用して話し合うことも考えられる。）

### ICT活用のメリット

- 動画を近くで確認でき，微細な情報も見つけやすい
- 必要に応じて個別再生が可能

## 【学習課題の解決に向けて必要な情報を収集する場面】



問い：「東北地方のお祭りを観光資源として活用するにはどのような工夫をしたらよいのだろう。」，「東北地方では，どのように他地域とのつながりをもとうとしているのだろう。」等

- ビッグデータを用いることで課題解決に向けて有用な資料を収集することができることを理解する。
- 流線図等，様々な主題図から情報を適切に読み取る技能を身に付ける。

### ICT活用のメリット

- 生徒の関心を高める資料の提示
- 信頼性の高い情報にアクセスする技能の習得  
➔ C(4)「地域の在り方」の地域調査での活用

例) RESAS→まちづくりマップ→From-to分析  
→表示地域を市区町村とし，秋田県秋田市を設定  
→2020年6月と2018年の8月を比較

【活用したソフトや機能】 ウェブブラウザ（動画視聴，RESAS閲覧）